

広島市植物公園

見どころ案内

2016年8月27日
通巻第296号

変化朝顔プレ展示

当園の誇る古典園芸植物のひとつ「変化朝顔」を9/3～の展示に先駆け、開花したものを森のレストラン下の特設展示棚にて紹介しております。ラベルは付けておりません。御了承下さい。詳細は「変化朝顔展 9/3～」にて紹介します。レストラン下が撤去済で御覧いただけなければ展示温室にて。

ダリア (キク科)

花色・形・大きさの様々な品種を地植えしております。

ポポー(バンレイシ科)

大きな葉の間にふっくらした俵型の緑色の果実がぶら下がっています。北アメリカ原産の果樹で、とってもクリーミーな果実です。各地の産直で売られている姿を見かけます。

ロウヤガキ (カキノキ科)

みもの
実物盆栽に仕立てられた姿をよく拝見します。今年は特に多く結実しました。
なお、まだ色付いていません。御了承下さい。

バルボフィルム

の仲間

(ラン科)

受粉のために昆虫を誘うよう仕組まれた花を咲かせております。じっと見ているだけではわかりませんが、そっと息を吹きかけてください。秘密が御覧いただけます。

秋の七草

ハギ園の植栽を見直し、ハギのみではなくキキョウ、オミナエシといった秋の七草のほか、マメ科の植物を御覧いただける植栽にリニューアルしております。

大温室改修のため休館

リニューアルオープンが平成29年秋ごろ(予定)です。

ムラサキナツフジ と アメリカノウゼンカズラ

この盛夏期に長くツルを伸ばしつつ長期間花盛りを迎えております。

盛夏に咲く草花

カスケードの花壇には酷暑の夏にも咲き続けるペンタス、アンゲロニア、松葉ポタン、コンテナにはサンパティエンス、紫の葉色でカラフルな果実をつける五色トウガラシなど花の少なくなるこの時期にも楽しむことができる花壇材料を紹介しています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が昼間でも咲いています。ツルは屋上まで到達して、高さ10m、幅50mの巨大カーテンとなっています。

